

# 桜井谷小学校だより

豊中市立桜井谷小学校 NO.15

令和8年(2026年)2月 5日

校長 出口 裕子

学校教育目標



学校 HP はこちら



## 早いもので、もう2月 春はもうすぐ!



2月に入り、これからまだまだ寒い日が続きますが、時折温かい日差しを浴びながら木々の芽やつぼみが少しずつ膨らみ始めました。力強く地中にしっかりと根を張り、養分を蓄え、じっと成長の機会をうかがって、春に向けての準備をしているように感じます。

1 月末から、今季最強で最長の寒波がやってきて、手袋やマフラーで防寒をしても体が冷えてしまうほどでしたが、子ども達は氷が張っているところを見つけると手で触ってみたり、多少、風が吹いていても外に出て楽しんだり元気いっぱいです。「子どもは風の子」という言葉は、今も健在ですね！さて、今年度も残すところ約2か月となり年度の締めくくりをする時期となりました。2月はあっという間に終わり、いよいよ3月がやってきます。次の学年に進級する準備をしていきましょう。そして、健康管理には十分気を付けて、もうすぐ春が来ることを楽しみに、しっかりこの時期を乗り越えていきましょう。

## 子どもたちの健康を守るために 全校朝会でお話しました。

1

電子たばこに  
ちゅういしよう

2026.2.2 全校朝会



2

けむりみたいなものが  
からだに よくないことが あるよ



3

見た目が おしゃれでも  
あんぜんとは かぎらないよ



4

見かけても...

- ・さわらない
- ・くわえない
- ・まねしない



こまったことは すぐに おとなに しらせてね



5

じぶんの からだは  
じぶんで まもろう



## 【児童会活動】ユニセフ募金を行いました

1月19日(月)から1月22日(木)までの4日間、本校ではユニセフの募金活動に取り組みました。活動中は朝から「おはようございます！ユニセフ募金のご協力をお願いします！」と元気な声が響いていました。児童会役員で分担して、正門・南門・西門の3か所で活動を行いました。その結果、4日間で集まった募金の合計金額は**37,110円**となりました。

一人ひとりの小さな思いが集まり、大きな力になることを、子どもたちは実感することができました。今後も思いやりや助け合いの気持ちを大切に育んでいきたいと思います。

今回の募金活動では、活動中に近くを通られた地域の皆様にも「頑張ってください！」と足を止めていただき、募金にご協力いただきました。お寄せいただいた募金は、ユニセフを通して支援が必要な方々のもとへ届けられます。

保護者の皆様や地域の皆様の温かなお心遣いに深く感謝申し上げます。



最近、未成年による電子たばこの使用が見られるとの情報を耳にすることがあります。学校では2月の全校朝会で生活指導担当より「見た目やにおいに惑わされず、自分の体を守ること」の大切さを伝えました(上記スライド)。電子たばこは、おしゃれな見た目や弱い香りや気づきにくいものがありますが、吸い込む蒸気(エアロゾル)には、健康への影響が懸念されると指摘されています。ニコチンの有無にかかわらず、健康影響には注意が必要とされています。

また、友だちに軽い気持ちで手を出してしまうこともあると言われています。子どもたちには、「もしどこかで見かけても触ったり、くわえたり、マネをしたりしないこと。『やってみよう。』と誘われても使わないこと。困った時は先生やお家の人に知らせることが大切です。」と伝えていきます。お子さまが安心して過ごせるよう、ご家庭でも見守りと声かけをお願いいたします。学校とご家庭と一緒に、子どもたちの健康を守っていきましょう。

## ★授業参観・学級懇談会のお知らせ★



授業参観  
学級懇談会

安全上の理由で内容を  
割愛させていただきます

安全上の理由で内容を  
割愛させていただきます



本年度最後の参観と懇談となります。  
何かとご多用の中とは存じますが、ぜひご出席ください。

- ・特に人数制限や参観の方法については制限していません。
- ・保護者用の名札を首からさげて、スリッパなどの上履きを持ってお越しください。
- ・子どもたちの頑張る姿をご覧ください。
- ・携帯電話は電源を切るかマナーモードをお願いします。
- ・教室、廊下での会話はお控えください。子どもたちの学習の妨げになります。
- ・体調のすぐれない方はご遠慮ください。

## ★寒波到来！今日も元気な風の子たち★

朝、登校してきた5年生の男の子2人が「校長先生、見て～!」と声をかけてくれました。見せてもらうと、なんと厚さ5mm程の氷!登校途中に見つけ、学校まで大事に持って来たとのこと。手のひらに乗せても、溶けることなくカチカチのままの氷に私も思わず驚いてしまいました。

続いて2年生の男の子たちが「池に氷が張っている!」と目を輝やかさせながら教えてくれました。寒さの中でも季節の発見があり、それを嬉しそうに伝えてくれる姿がかわいらしく、そして頼もしく感じられます。

ただ、池やビオトープの周りは滑りやすくなっています。興味津々なのはうれしいですが、落ちないように気を付けてね!!

寒さに負けない元気いっぱいの子どもの元気な姿に、朝から心が温かくなりました。



## いのちの学習

1・2年生

### ～生まれてきたこと自体が、すでに愛の証～

1月22日(木)1年生と2年生の「誕生学」の講師として螢池小学校の小林洋子校長にお越しいただき、人が生まれることの神秘さと誕生するために人に備わっている力の素晴らしさについて、わかりやすく教えていただきました。

1年生では、子どもたちは赤い画用紙にある小さな点(針で刺したほどの小さな穴)が赤ちゃんの始まりであることを知り、「ちいさいー!!」と驚き、最後は「赤ちゃんはおなかの中で、自分でミルクを飲む練習や生まれる準備をしているのがすごい」「点くらの大きさから9か月で(赤ちゃんが)あんなに大きくなってびっくりした」など、改めて自分たちが生まれてきたことへの喜びを感じてくれていました。

2年生では、「ある国の王様の話」を聞きました。赤ちゃんが健やかに育つためには、栄養やお世話だけではなく、赤ちゃんには抱っこや言葉かけなど『親からの愛情』が欠かせないという内容でした。子どもたちはしっかり耳を傾けていました。さらに、もうひとつ。絵本『しゅくだい』(岩崎出版)を読んでいただきました。絵本を読み終わると、絵本と同じように…子どもたちへ「抱っここの宿題」が出されました。さて、この温かい宿題は、おうちでどんな時間になったでしょうか。子どもたちは、これまでにおうちの方からたくさんの愛情を受け取って、ここまで大きくなってきたことにも気づいてくれたのではないのでしょうか。

小林校長は、小学校教員として勤務される前に、実際に新生児集中治療室での看護師として勤務されていました。小林校長は、看護師時代に様々な新生児とその家族と関わられてきたことで、「人の命の尊さ」「出産の難しさと素晴らしさ」を肌で実感されました。この世に新しい生命が誕生し、『生きる』ということがどれだけ素晴らしく、また尊いものなのかを看護師と教員を経験された小林校長ならではのお話が聞くことができました。

